

20年3月期上半期連結業績について

上席執行役員

岡 恭彦

2019年10月30日

- 連結業績サマリー
- 業績概要（P L、受注高、受注残高）
- 売上区分別（売上高、受注高、受注残高）
- 業種別売上高
- セグメント別業績
- 営業利益の増減分析
- 要約連結BS
- 通期連結業績予想・中間配当

売上高

187,329 百万円

前期比

+11.9%増収

営業利益

19,800 百万円

前期比

+23.7%増益

営業利益率

10.6 %

前期比

+1.0%向上

受注残高

130,463 百万円

前期比

+9.4%増加

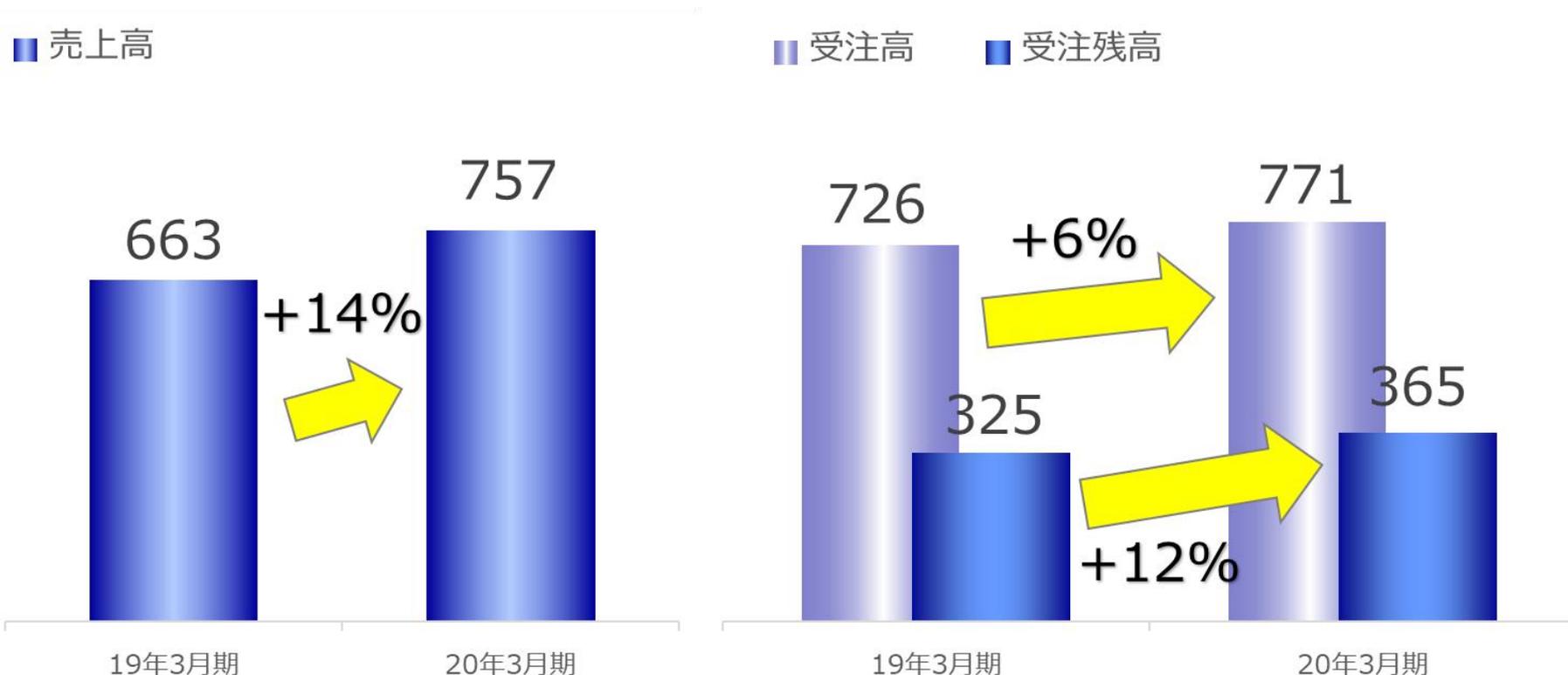
(単位：百万円)

	19年3月期	20年3月期	増減額	増減率
売上高	167,424	187,329	19,905	11.9%
売上総利益	41,218	46,861	5,643	13.7%
売上総利益率	24.6%	25.0%		
販売管理費	25,213	27,061	1,847	7.3%
営業利益	16,004	19,800	3,795	23.7%
営業利益率	9.6%	10.6%		
経常利益	16,364	20,337	3,972	24.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10,836	13,796	2,959	27.3%
受注高	169,660	180,404	10,743	6.3%
受注残高	119,283	130,463	11,180	9.4%

(単位：百万円)

	売上区分	19年3月期	20年3月期	増減額	増減率
売上高	システム開発	66,352	75,742	9,390	14.2%
	保守運用・サービス	65,212	69,862	4,649	7.1%
	システム販売	35,859	41,724	5,865	16.4%
	合計	167,424	187,329	19,905	11.9%
受注高	システム開発	72,630	77,129	4,499	6.2%
	保守運用・サービス	59,875	60,624	748	1.3%
	システム販売	37,155	42,650	5,495	14.8%
	合計	169,660	180,404	10,743	6.3%
受注残高	システム開発	32,575	36,506	3,930	12.1%
	保守運用・サービス	76,226	78,479	2,252	3.0%
	システム販売	10,481	15,478	4,996	47.7%
	合計	119,283	130,463	11,180	9.4%

(単位：億円)



売上高 : 戦略的投資、ERP・CRMなどのシステム再構築案件、業務効率化、省力化目的の需要で堅調に推移

受注高 : 通信業、流通業向けで反動減があるものの増加

受注残高 : 製造業、金融業を中心に様々な業種で増加

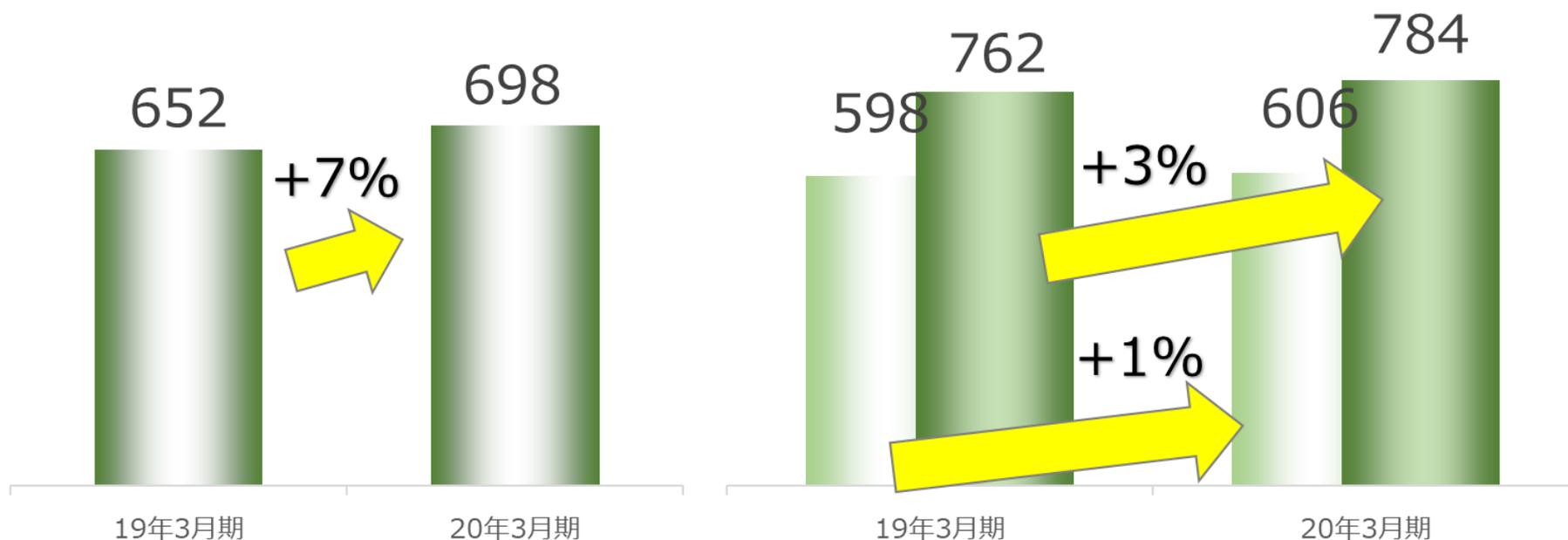
売上区分別：保守運用・サービス（売上高・受注高・受注残高）

（単位：億円）

■ 売上高

■ 受注高

■ 受注残高



売上高：システム保守ビジネスや検証サービスが拡大
基幹系システムのクラウド型サービス提供やBPOビジネスが堅調

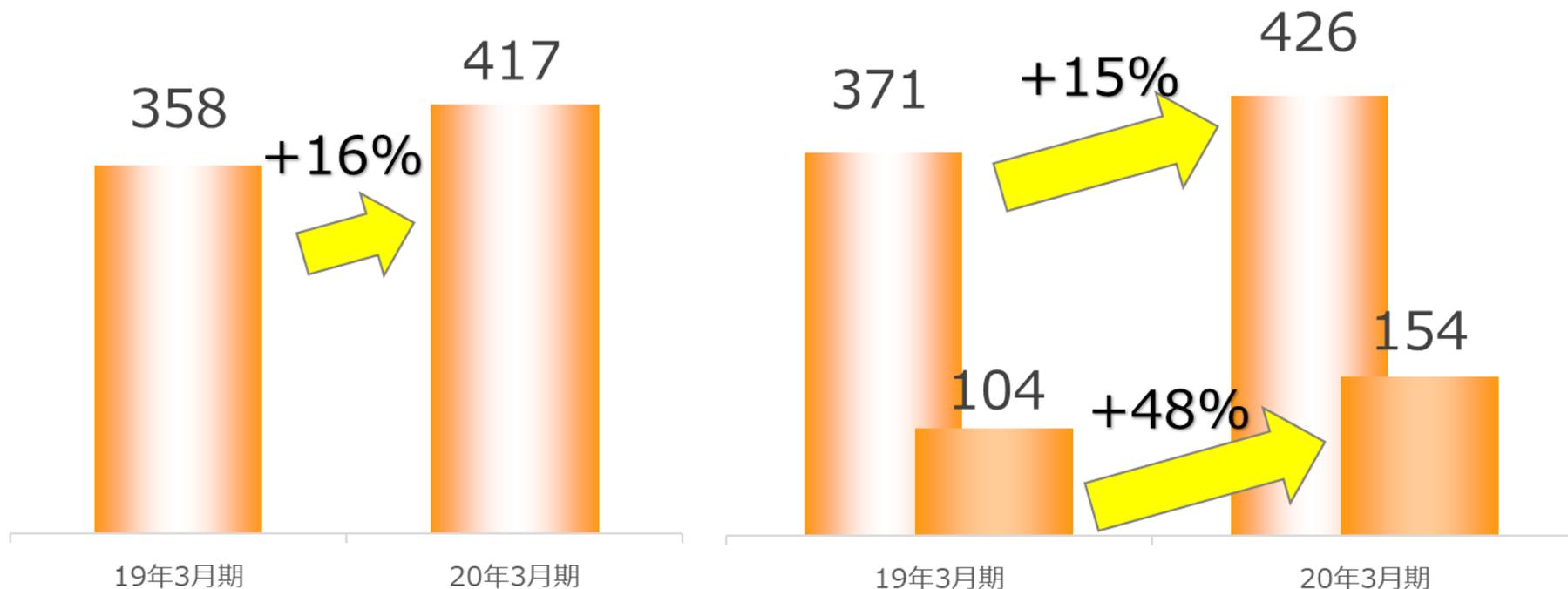
受注高・受注残高：BPO案件の積み上がりで増加

(単位：億円)

■ 売上高

■ 受注高

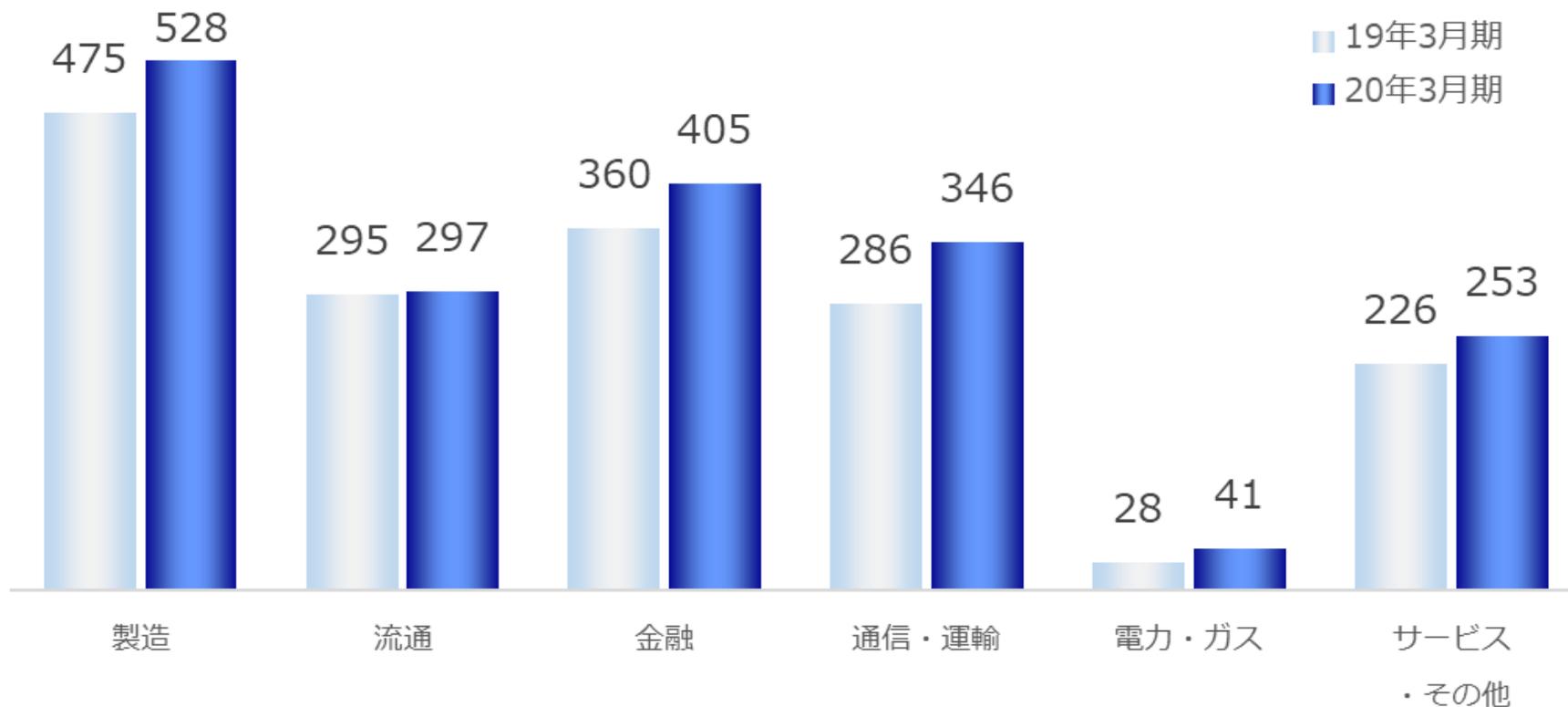
■ 受注残高



売上高：通信業向けネットワーク機器販売、製造業向けハードウェア販売が増加

受注高・受注残高：通信業向けネットワーク機器関連、
学術研究機関向けハードウェア関連が増加

(単位：億円)



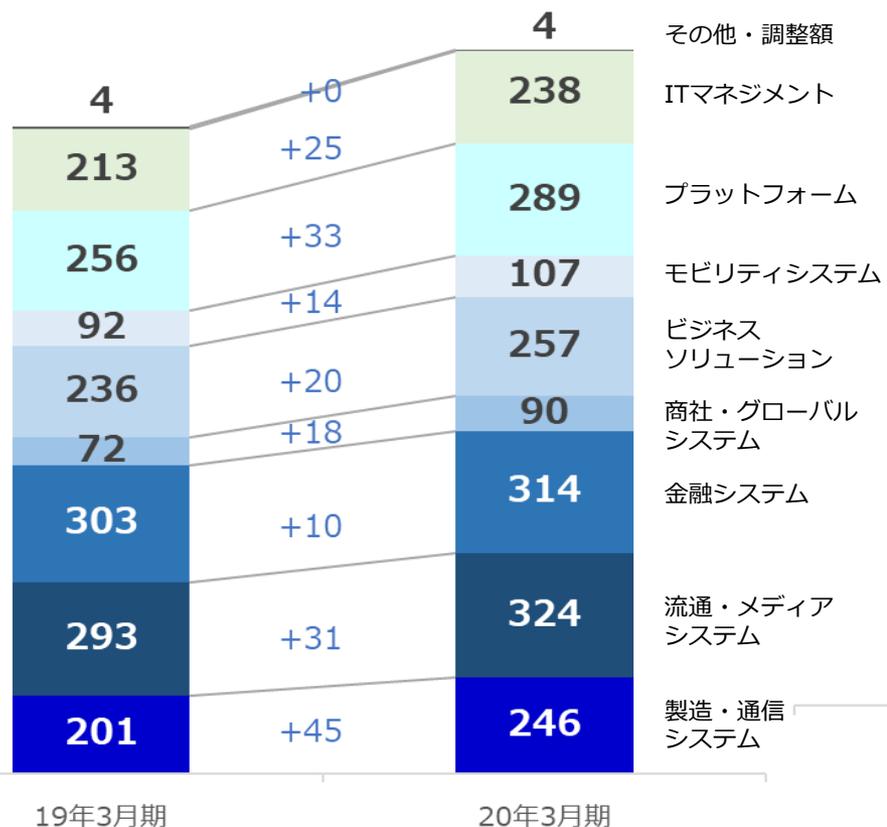
<各業種の売上高増加要因>

- 製造 : 自動車業向けシステム開発、製品開発時の検証サービス
- 流通 : 基幹システム再構築案件
- 金融 : 銀行業、信販リース業向けシステム更新需要
- 通信・運輸 : 通信業向けネットワーク機器販売、運輸業向けシステム更新
- 電力・ガス : 業務効率化、顧客サービス拡充の投資需要

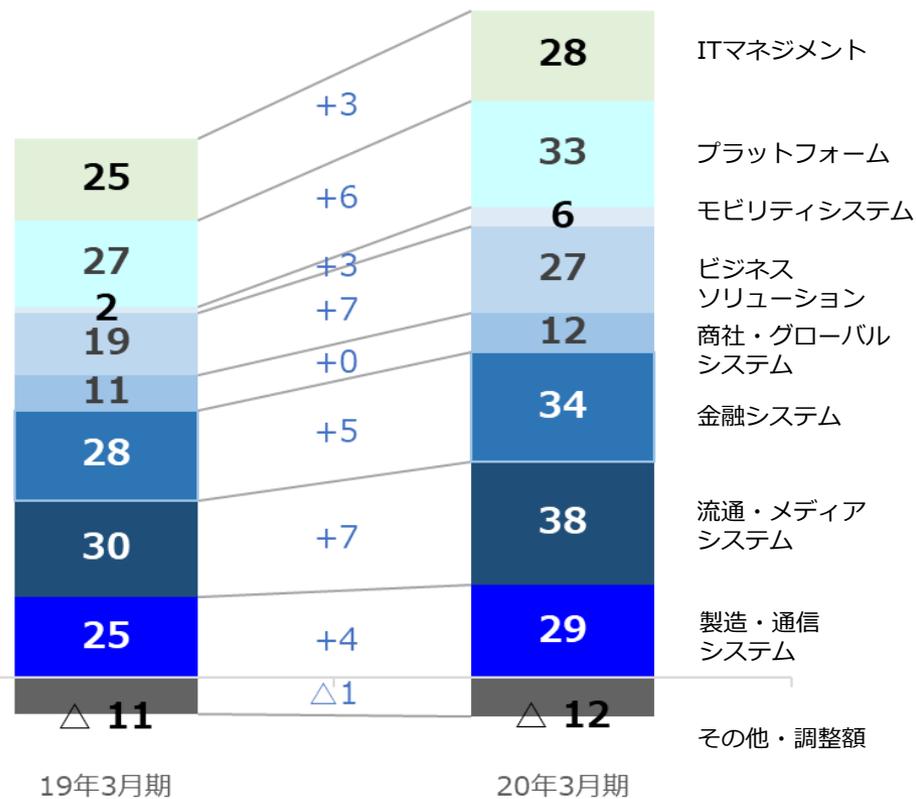
20年3月期上半期決算 セグメント別業績

(単位：億円)

売上高

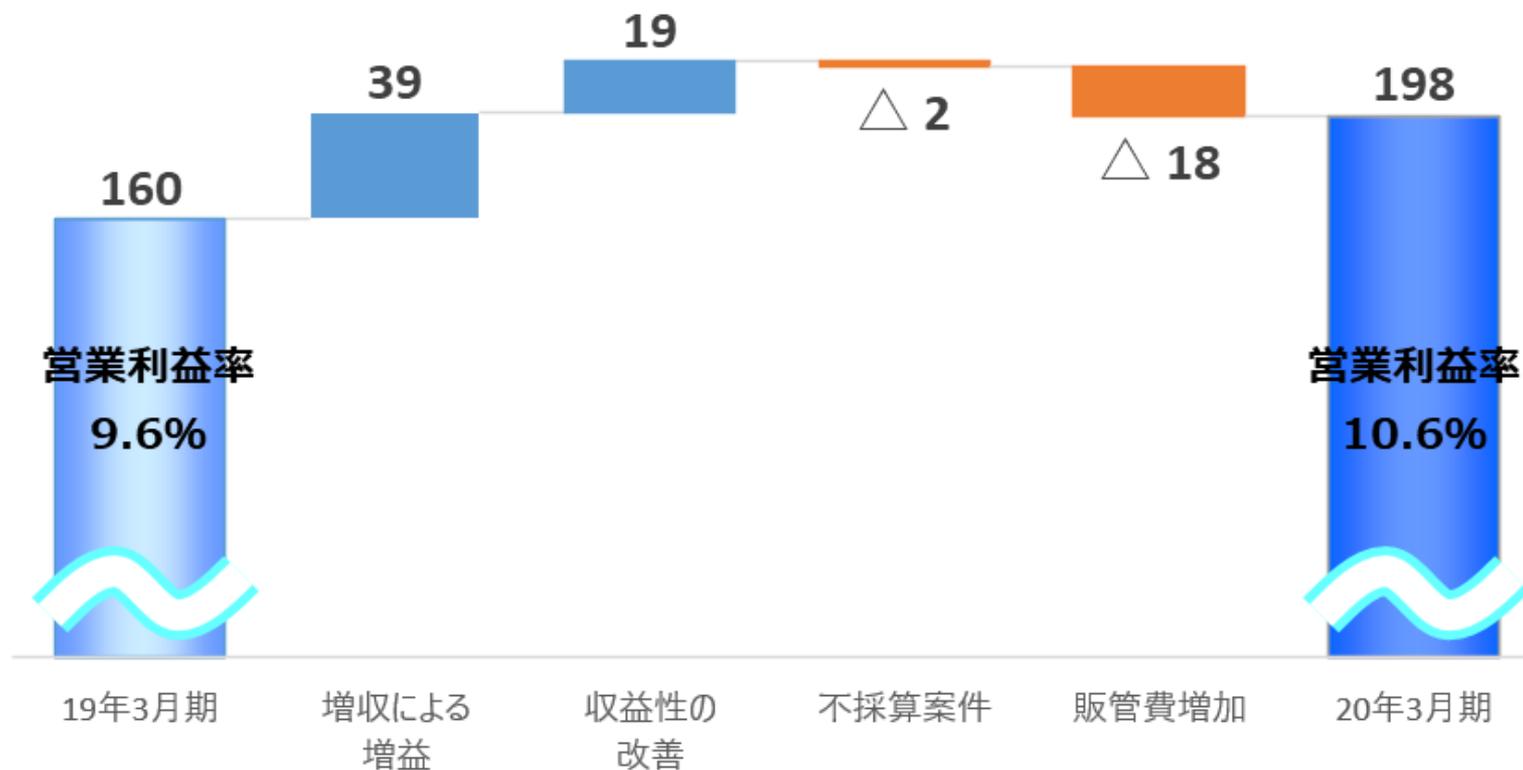


営業利益



20年3月期上半期決算 営業利益の増減分析

(単位:億円)



<販管費の増加要因>

- 昨年度の好業績による業績賞与の支給
- 事業投資関連費用
- 創立50周年イベント関連費用、他

20年3月期上半期決算 要約連結BS

(単位：億円)

19年3月31日時点

総資産 3,148



自己資本比率 61.4%
1株当たり純資産 1,862.78 円

19年9月30日時点

総資産 3,171



自己資本比率 63.3%
1株当たり純資産 1,932.93 円

期初予想から変更無し

(単位：百万円)

連結業績予想	19年3月期 実績	20年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	358,654	380,000	21,345	6.0%
営業利益	38,378	41,000	2,621	6.8%
営業利益率 (%)	10.7%	10.8%		
経常利益	38,650	41,000	2,349	6.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	27,892	28,000	107	0.4%

中間配当	19年3月期 上半期実績	20年3月期 上半期実績			差額	増配率
		普通配当	記念配当	合計		
1株当たり配当金 (円)	50	55	10	65	15	30.0%

< 当資料利用上の留意点 >

- ・P8に記載の売上高前期比較（業種別）については、一部計上業種の見直しを行ったことにより、前年度の業種別売上金額を組み替えております。
- ・P9に記載のセグメント別連結業績については、当期にセグメント区分の変更を行っていることから、前年度の実績についても、変更後のセグメント区分に組み替えております。

< 免責事項 >

- ・本資料は、当社グループの業績及びグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- ・本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。
- ・本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。

- 19.10.28 「グッドキャリア企業アワード 2019」大賞（厚生労働大臣表彰）受賞
- 19.10.24 ITの基礎を学べる eラーニング無償提供
- 19.10.23 SCSK、「AWSマネージドサービスプロバイダプログラム」認定を取得
- 19.10.11 「PRIDE指標」で最高位「ゴールド」を2年連続受賞
- 19.10.02 SCSK、「AWS Well-Architectedパートナープログラム」認定を取得
- 19.09.27 八十二銀行および中京銀行にて、マネー・ロンダリング対策の顧客管理システム「BankSavior ScoreBoard」を運用開始
- 19.09.18 SCSK、秋田県と石川県に開発拠点開設
- 19.09.05 現場業務改善サービス「働き方改革ラボ」を提供開始
- 19.09.04 SCSK、米国Domo社とビジネス管理プラットフォーム「Domo」の国内における代理店契約を締結
- 19.09.03 米国コーポレートベンチャーキャピタルファンド「Presidio SCSK Digital Fund」の設立について
- 19.09.02 クラウドサービス「USIZEシェアードモデル」の基盤にアクティブフォを採用
- 19.08.30 「テレワーク・デイズ2019」&「スムーズBiz」に延べ20,500回の柔軟な働き方を実施
- 19.08.28 SCSKとAcquiaがパートナー契約を締結
- 19.08.28 サミット「QRコード決済サービス」を導入
- 19.08.09 【業界初】テレマティクス技術を活用した事故対応システム「テレマティクス損害サービスシステム」の提供を開始
- 19.08.08 SCSKのERPパッケージ「ProActive E²」が「消費税率改正」「軽減税率」に対応
- 19.08.01 多様化する働く環境のセキュリティを強化するクラウドサービス提供開始
- 19.08.01 カメガヤでQRコード決済サービス「VIA」「メルペイ」「楽天ペイ」「d払い」を追加